

タイトル: サブサハラ地域で産休サンキュープロジェクトを展開

2013年12月26日

住友商事株式会社

住友商事株式会社(以下、「住友商事」)は、日本赤十字社が推進するサブサハラ地域(ウガンダ・ケニア)における母子健康支援活動「産休サンキュープロジェクト」を支援しています。

「産休サンキュープロジェクト」では、一年間に誕生する当社社員の新生児(約200人)と同数のアフリカの子供の命を守る、というコンセプトのもと、日本赤十字社の事業へ資金提供しています。この資金は、ケニアでは、医療のアクセス困難な地域の巡回診療のために用いられます。また、ウガンダでは、安全な出産に必要な最低限のキット(へその緒を切るための剃刀、滅菌手袋、ビニールシート)を詰めた「ママバック」の提供に使われます。

本プロジェクトは、住友商事のCSR担当者が「社員がわが子の誕生を機に、職場で支えてくれる同僚や上司への感謝の気持ちに気付いたり、広く世界の実情に眼を向け、社会的課題の解決について考えたりしてほしい」という思いからコンセプトを発案、企業とのコラボレーションを希望していた日本赤十字社へご提案し、同社が推進するプロジェクトとして採用されたものです。今後広く普及することが期待されます。

住友商事はこれからも、グローバルに展開するネットワークとこれまで国内外で培った社会貢献活動に関する知見を活かし、それぞれの社会の発展へ貢献すべく活動を推進していきます。



2013年5月に行われた贈呈式



日本赤十字社 五十嵐派遣員(左)と住友商事 川浦ナイロビ事務所長